

「Jアラート」によるミサイル発射警報が発信された場合の対応について

Jアラート等を通して緊急情報が発信された場合は、安全確保を最優先として、「弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例について」（以下、行動例）に示される行動をとってください。

登校前の場合

自宅で待機し、「行動例」に示される行動をとってください。安全が確認された後、公共交通機関等が運行している場合は登校してください。

登校中の場合

まず、「行動例」に対応した行動をとってください。また、駅員などの指示に従って行動してください。安全が確認された後、公共交通機関等が運行している場合は登校してください。

既に登校している場合

学校の指示を待たず、「行動例」に示される行動をとってください。その後、学校の指示に従って行動してください。

弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例について

(平成 29 年 4 月 21 日付消防国第 38 号、消防運第 24 号「弾道ミサイル落下時の行動例について」を参考に作成)

1. Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の行動例

○ミサイルが日本へ落下する可能性がある場合は、Jアラートを通して、防災行政無線等で特別なサイレン音とともにメッセージが流れるほか、緊急速報メール等によって緊急情報が発信されるので、メッセージが流れたら、落ち着いて直ちに行動をとることが求められる。

【屋外にいる場合の行動例】

- ・ 近くにできるだけ頑丈な建物や地下などに避難する。
- ・ 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。

【屋内にいる場合の行動例】

- ・ できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

【自動車の車内にいる場合の行動例】

- ・ 車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車を止めて頑丈な建物や地下街などに避難する。周囲に避難できる頑丈な建物や地下街などが無い場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。

2. ミサイルが着弾した場合の行動例

○近くにミサイルが着弾した場合に取るべき行動は以下のとおり。

- ・ 近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。
屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして、室内を密閉する。
- ・ 弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って落ち着いて行動する、